

日本人間工学会東北支部研究会のお知らせ

(一般社団法人) 日本人間工学会

東北支部長 大橋 智樹

皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。下記の内容で研究会を開催いたしますので、周知方、よろしくお願い致します。皆様のご来聴を心よりお待ちしております。

■開催日時 2017年2月25日(土) 14:30~17:00

■開催場所 工学研究科総合研究棟 110号室(第二講義室)

※会場へのアクセスはこちら(<https://goo.gl/jcQBbP>)をご覧ください。

■講演テーマ “吉田調書”から学ぶ(1)

東日本大震災と、その津波によって東京電力(株)の福島第一原子力発電所で起こった事故から6年が経とうとしている。東日本大震災とこの原子力災害は、「想定をはるかに超える自然災害にどのように対応すべきか」という難題を、日本中の様々な産業にこの難題を突き付けた。各界がこの難題に答えを見出す苦悩を続けている。そのような中で、政府事故調が当時の福島第一原子力発電所の所長であった吉田昌郎所長(故人)から聴取した50万字的記録が“吉田調書”である。この記録は、想定をはるかに超える事態にどのように対処したかを語る貴重な記録であるという点で、原子力事業に限定しない示唆に富む内容であると考えられることができる。この調書を正確に分析し、少しでも後世の様々な産業の安全性向上に寄与させることが、故人の遺志に反して公表されたことへのせめてもの弔いと言えらるだろう。

今回は、(株)原子力安全システム研究所における分析と、その分析に基づく訓練の開発について話題提供をいただく。“吉田調書”の分析を実践へつなげた稀有な実例として、その経緯やご苦勞などをお話しいただく予定である。それらをフロアとのディスカッションを通して、幅広い分野への応用可能性を探り、次の実践者へとつなげていくことが本研究会の目的である。

(企画:大橋智樹)

■次第

14:30~14:40 開会挨拶・趣旨説明

14:40~15:30 講演1:“吉田調書”からのノンテクスキル抽出と分類

金山正樹氏((株)原子力安全システム研究所・社会システム研究所副所長・ヒューマンファクター研究センター所長)

15:30~16:10 講演2:“吉田調書”の分析に基づく緊急時対応ノンテクニカルスキル訓練の開発と実践

彦野賢氏((株)原子力安全システム研究所・社会システム研究所ヒューマンファクター研究センター副主任研究員)

※研究会終了後、同会場にて“意見交換会”を行います(会費1,000円)。

※研究会にご参加いただける方は、氏名、所属、講演会(出席・欠席)、意見交換会(出席・欠席)を下記メールアドレスまでお知らせください。(どなたでもご参加いただけます)

(一般社団法人) 日本人間工学会東北支部事務局

〒981-0855 宮城県仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1

宮城学院女子大学学芸学部心理行動科学科 大橋智樹研究室内

E-mail: tomohs+jest@gmail.com (@を半角にしてください)